

# 北海道建設部土木工事共通仕様書

## 新旧対照表

「北海道建設部土木工事共通仕様書（令和7年10月版）」を一部改定し、令和7年10月1日以後に入札する工事から適用する。

新旧対照表欄外記号の説明

- ◎ 重要な変更
- 標準的な変更
- △ 軽微な変更、誤植等

# 北海道建設部土木工事共通仕様書 新旧対照表

(新) 令和7年10月版 一部改定							(旧) 令和7年10月版							頁				
Ⅱ 土木工事施工管理基準				3 品質管理基準(共通・河川・海岸・砂防・道路)														新(旧)
工 程	種 別	試験区分	試験項目	試験方法	規格値	試験時期・頻度	摘 要	試験成績表等による確認	工 程	種 別	試験区分	試験項目	試験方法	規格値	試験時期・頻度	摘 要	試験成績表等による確認	修正内容
セメントコンクリート (縦圧コンクリート・コン クリート・M・覆工コン クリート・吹付けコン クリートを除く)	施工	必須	コンクリートの曲げ強度試験 (コンクリート舗装の場合、必 須)	JIS A 1106	1回の試験結果は指定した呼び強度の85%以 上であること。 3回の試験結果の平均値は指定した呼び強 度以上であること。	打設日1日につき2回(午前・午後)の割りで行う。 なおテストピースは打設場所にて採取し、1回につき 原則として3個とする。			施工		必須	コンクリートの曲げ強度試験 (コンクリート舗装の場合、必 須)	JIS A 1106	1回の試験結果は指定した呼び強度の85%以 上であること。 3回の試験結果の平均値は指定した呼び強 度以上であること。	打設日1日につき2回(午前・午後)の割りで行う。 なおテストピースは打設場所にて採取し、1回につき 原則として3個とする。			
			コアによる強度試験	JIS A 1107	設計図書による。	品質に異常が認められた場合に行う。						設計図書による。	品質に異常が認められた場合に行う。					
		コンクリートの洗い分析試験	JIS A 1112	設計図書による。	品質に異常が認められた場合に行う。			設計図書による。			品質に異常が認められた場合に行う。							
		寒中コンクリート 養生中コンクリート温度及び外 気温、保温された囲い内部気温 等を測定		3時間以内の間隔で定時測定する。	様式-24又は任意の様式にとりまとめる。			3時間以内の間隔で定時測定する。			様式-33にとりまとめる。		Ⅱ-3-8(R) ■誤植修正 △					
		コンクリート舗装 コンクリート打設温度 (寒中コンクリートの場合)	打設区内の打設始 め・中間・完了時	3回以上	様式-24又は任意の様式にとりまとめる。			3回以上			様式-33にとりまとめる。		〃					
		コンクリート舗装養生中 コンクリート温度 (寒中コンクリートの場合)	1箇所以上	3時間以内の間隔で定時測定する。	様式-24又は任意の様式にとりまとめる。			3時間以内の間隔で定時測定する。			様式-33にとりまとめる。		〃					
		コンクリート舗装囲い内の温度 (寒中コンクリートの場合)	打設区内 2箇所以 上	3時間以内の間隔で定時測定する。	様式-24又は任意の様式にとりまとめる。			3時間以内の間隔で定時測定する。			様式-33にとりまとめる。		〃					
		寒中コンクリート温度の測定					・生コン工場出荷時に、アジテータ全車について測 定し、レディミキストコンクリート納入書の備考 欄に出荷時のコンクリート温度を記入する。 ・現場受入れ時に、アジテータ全車について、コン クリート温度を測定する。							・生コン工場出荷時に、アジテータ全車について測 定し、レディミキストコンクリート納入書の備考 欄に出荷時のコンクリート温度を記入する。 ・現場受入れ時に、アジテータ全車について、コン クリート温度を測定する。				〃